

学びの場を選べる。多様な居場所

スプリング教室

学校へ行きづらさを感じる児童生徒の心の居場所



学校のルールを基本に生活しながら、自分で設定した時間割に沿って学習に取り組みます。少人数の静かな雰囲気の中で、一人一人が自分のペースで学び、社会的自立や学校復帰を目指します。

●特徴

- ・教員経験のある相談員による学習・進路に関するアドバイス
- ・児童生徒や保護者との定期的な教育相談
- ・学習日は学校の出席として取り扱い

- 場所 市役所八幡町別館 2階
- 時間 平日 9時30分～15時30分
- ※原則、保護者による送迎



青空ラボ

お互いのことを認め合い、安心して過ごせる居場所



「やりたい」を大切にしたい体験活動やコミュニケーション活動を通して、多様な学びを支援。服装や所持品、ラボでの過ごし方について細かい決まりはなく、児童生徒が安心して過ごせる場所であることを大切にしています。

●特徴

- ・南九州大学都城キャンパス内に設置
- ・年齢の近い大学生スタッフによる支援
- ・自分のペースで「やりたい」活動に取り組める
- ・活動日は学校の出席として取り扱い

- 場所 南九州大学都城キャンパス ひばり館
- 時間 平日 9時30分～11時30分
- ※原則、保護者による送迎



校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）

校内の安心できる居場所で登校支援

スペシャルサポートルーム（通称SSR）は、自分の学級以外で安心して学習・生活できる校内の居場所です。校内にあることを生かして、登校の継続を支援します。

●特徴

- ・自分のペースや方法で学習を進められる
- ・教室とは異なる落ち着いた空間で過ごせる
- ・専門スタッフによる学習サポートと相談対応
- ・不登校の未然防止を目指した支援

- 場所 市内の中学校2校（モデル校）
- 時間 学校の授業時間内



◎問い合わせや見学相談

所属の学校、教育相談室（☎46-2088）、学校教育課（☎23-2186）

次世代の子どもたちを輝かせるために

多様な学びのための居場所づくり

近年、全国的に学校に行きづらさを感じる子どもたちが増えています。市では、こうした状況に対応するため、多様な学びの場を提供しています。

◎問い合わせ 学校教育課 ☎23-2186

1 相談・面談

- ・学校と保護者で、必要な支援内容について確認
- ・面談により、児童生徒の実態やニーズを確認



2 体験・申し込み

- ・スプリング教室や青空ラボなどを見学・体験
- ・学びの場を選定。保護者が学校を通じて、教育委員会へ申請書を提出



3 支援計画

- ・体験後、通級を開始
- ・学校は、児童生徒の学びの支援計画を作成



国は「学びたいときに学べる環境の確保」「誰一人取り残されない学びの保障」を不登校支援の方針として掲げています。

本市でも、「どこにもつながっていない児童生徒をゼロに」を目標に、それぞれの年齢や状況に合わせた学びの機会を保障し、児童生徒・保護者への支援体制を整えています。

市内には、子どもたち一人一人が自分らしく学び、成長するための多様な居場所があります。まずは相談ください。

「どこにもつながっていない児童生徒をゼロに」を目指して

message

「子どもが『勉強してみようかな』と自分から言いだすようになって驚きました。もし、ここがなかったらどうなっていたんだろうと思います。ありがたい場所です。」これは、青空ラボに通っていたお子さんの保護者からいただいた声です。スプリング教室の生徒たちも、自分のペースで努力を積み重ね、進路実現を果たしています。社

会の変化とともに学校の在り方も変わってきています。学校には集団の中でしか学べない魅力がありますが、その環境を苦しく感じることもあります。そんな時、学校以外で安心して過ごせる場があることが大切です。誰一人取り残されない都城市の教育を目指し、子どもたちの笑顔と未来を支えていきます。



都城市教育長
児玉 晴男